

火の魂ファミリーの皆いつも本当にありがとう。

10月1日に2020年度の内定式が執り行われました。

今回の内定式は、内定者12名と内定者の親御様も出席していただき、改めて理念の勉強会や親睦を深めるための懇親会を行いました。

火の魂カンパニーと自分の未来を重ね合わせた12名の新しい家族を4月から迎え入れ、飛躍的に発展成長していくイメージを実感しました。

とは言え、外食未経験な若者たちなので温かくサポートして欲しいです。

さて、今月の社長からの手紙は、私の夢の一つでもある教育事業の根本にある「教育とは？」を書いてみたいと思う。そもそも私がなぜ教育事業を立ち上げたいのかというと、それは学校の授業で学べるものは、基本的に「知識」と「技術」があります。専門性が高い学校は「技術」を学ぶ事もありますが、基本的に義務教育、高校大学は知識を身につける場なので、社会に出て身につけるのが「技術」と考えていいでしょう。そして学校での学んだ知識は、正直な話ですが社会では何の役にも立ちません。全ての知識はGoogle検索を使ってしまえばいいので、暗記した知識を社会で活用する場面は0に等しいと考えていいでしょう。それでも何故、日本の学校は暗記メインの暗記力＝知識力を学ばせるのでしょうか？それは単純な話で偏差値が高ければ偏差値の高い大学に入れるからです。しかしその先の就職となるとどうでしょう？偏差値だけで採用している会社は世の中に存在しません。多くの企業が社会人として通用しそうな「考え方」が確りしている学生を優先的に採用しているのです。

しかし日本の学校には考え方を育み【考え方の教育】をしている学校はあまりありません。というか小中高大と暗記型の暗記力＝偏差値みたいな教育にしか私は見えません。勿論、暗記する努力をする、決められた期限を守り宿題を提出することが無駄だとは思っていません。しかしそれ以上に大切なことは、「物事に対する考え方」が、これからの時代に一番大切な教育だと考えています。どんなに知識を身につけようとも、役職や学歴などという立場で人を教育することは出来ません。教育の目的は、人が幸せになる為ではないでしょうか？私は日本の教育を見て、人が幸せになるためではなく、良い学校、良い会社に入るためになっていると感じます。

私が教育を語るのはおこがましい話かもしれませんが、火の魂カンパニーの発展を通して、教育事業を必ず立ち上げて人の幸せを追求していきます。

我々は、理念であるALLWINを土台に、関わる人の幸せに必ず貢献します。